

## ( 1 5 ) 都市ガス業

14 / 13 15 / 14 伸び率 10%以上 ? 伸び率 0 ~ 10%  
: 天気図マーク; ? 伸び率 0 ~ 10% 伸び率 10%以下

### 1 . 企業経営動向

#### ( 1 ) 都市ガス需要動向

平成 1 4 年度の都市ガス大手 3 社のガス販売量は、前年度に比べ 1 , 6 3 0 百万 (46MJ / 換算。以下同じ。)増加し、2 0 , 4 8 7 百万 (対前年度比 8 . 6 % 増) となった。

これを用途別に見ると、業務用については、新規需要の開発や空調需要の増加により、対前年度比 8 . 5 % 増加した。また、家庭用については、需要件数が増加したことに加え平均気温が前年より低めに推移したこと等により、対前年度比 4 . 4 % の増加となった。

平成 1 5 年度のガス販売量については、気温の平年度化及び家庭用・業務用ともに積極的な需要拡大努力を織り込み、全体としては対前年度比 4 . 3 % の増加を見込んでいる。

#### ( 2 ) 中期の見通し

ガス販売量について、家庭用では、今後の住宅着工件数の伸びとともに、都市生活の質的向上に伴う新たな需要の創造等、都市ガスの一層の普及拡大を図っていくことを前提に、また業務用については、他燃料との競合の激化等、依然厳しい環境にあるものの、ビル冷暖房・コージェネレーション分野での都市ガスの利用促進、発電分野における需要拡大等の販売努力を考慮して想定した結果、平成 1 4 年度から平成 1 9 年度の年平均伸び率は、家庭用 1 . 4 % 、業務用 4 . 7 % 、全体で 3 . 7 % 程度と見込まれる。

#### ( 3 ) 企業業績

都市ガス大手 3 社の平成 1 4 年度の決算は、経常利益が 1 , 4 9 5 億円となり、前年度と比較して 5 . 1 % の減益となった。

これは、収入面においては、販売量が増加したものの料金引下げの影響による減収等により、売上高は、前年同期比 0 . 7 % 減の 1 兆 9 , 4 7 5 億円となった。また費用面においては、販売量の増加に伴う原材料費等の増加があったものの、経営効率化の一層の促進等により、経常費用は前年同期比 0 . 3 % 減の 1 兆 8 , 2 0 5 億円となった。

### 2 . 設備投資動向

#### ( 1 ) 平成 1 4 年度実績

平成 1 4 年度の設備投資実績額は、製造設備等の大規模工事があったものの、H13-H14 共通企業ベース 1 9 社では、前年度に比べ 3 1 0 億円 (前年度比 1

1.4%)の減少となった。

(2) 平成15年度計画

平成15年度の設備投資計画額は、総額2,384億円(調査対象18社)で、前年度に比べ2億円(前年度比 0.1%)の減少となっている。

3. 長期資金調達・運用動向

(1) 長期資金運用動向

都市ガス業は、調達資金の殆どを設備資金に充当している。なお、平成14年度の関係会社等への投融資の資金調達に占める割合は12.7%程度である。

(2) 長期資金調達動向

平成14年度の設備資金等の調達は、内部資金が106.2%と調達の額を上回る見込みであることから、社債・借入金等の外部資金は10.4%の減少となっている。

平成15年度の設備資金等の調達計画は、内部資金が92.5%と調達の額を下回る計画であることから、社債・借入金等の外部資金は7.5%の増加となっている。

(グラフ1：設備投資の前年度比の推移)

